

ヴォリュームアキュライザーの活用 (20)  
—複数箇所への同時適用(11)—

1. 始めに

今回は、しなの音蔵 300B シングルアンプの修理が終わりましたので、前報(19)に引き続き、VRA-7 の複数箇所への同時適用として、TruPhase とメインシステムの FAL C90EXW を駆動する、しなの音蔵 300B シングルアンプのヴォリュームに VRA-7 を適用してみます。

2. ヴォリュームアキュライザーVRA-7 の試聴方法

今回は、修理が終わって戻ってきた、しなの音蔵 300B シングルアンプのヴォリュームに適用してアナログ音源で試聴します。TruPhase への適用は、ヴォリュームアキュライザーの導入(2)の報告のとおりです。

なお、ZANDEN Model 120 からは、Brooklyn DAC+にライン入力し、Brooklyn DAC+から TruPhase にはバランス接続しています。さらに TruPhase から 300B シングルアンプへもバランス接続とし、バランスアナログアキュライザーを介在させ、バランスアナログアキュライザーにも VRA-7 を貼っています。この間の経過は、[LINN LP-12 の再構成\(32\)](#)で報告しています。

位相反転は ZANDEN Model 120 のみとし、Brooklyn DAC+ と TruPhase は正相に固定しています。

300B シングルアンプのヴォリュームはピン状のもので、左右近接しており、VRA-7 をそのまま貼るわけにはいきません。そこで、VRA-7 のテープを剥がして、両面テープを短冊状に切って貼り付け、ピンのサイドに押し付けて接着します。そして落下しないようスコッチテープで支えます。



音源はヴォリュームアキュライザーの導入(2)で使用したアナログ盤を使用します。

**Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929**

**J.S.Bach Sonatas & Partitas**

**Nathan Milstein**

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

**LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)**

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウーンフィル

**Angel (東芝 EMI) AA 9117・C**

ゲオルグ・フードリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

### 3. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の試聴結果

最初に **TruPhase** に **VRA-7** を貼ってあるだけで聴いておき、次いで、しなの音蔵 **300B** シングルアンプのヴォリュームにも追加します。変則的な貼り方で、かつヴォリュームピンと **VRA-7** の接触面積が小さいので効果が出るかどうかポイントです。

既に **TruPhase** に **VRA-7** を貼っており、かつバランスアナログアキュライザーにも **VRA-7** を貼っていますので、音源は違いますが、**LINN LP-12** の再構成(32)で報告しているように、いずれの音源も様変わりしています。即ち、**300B** シングルアンプの伸び伸びとした鳴り方で、バランス入力の安定度と静かさ、さらには **VRA-7** の効果による緻密な表現力が聴き取れます。従って、これ以上のレベルは望めないかと思われるくらいです。

**300B** シングルアンプのヴォリュームにも **VRA-7** を追加しますと、**Bach** の **Sonatas & Partitas** は、劇的な変化とは言えませんが、ミルシュテインのヴァイオリンの艶が増し、間接音が捉えられやすくなります。

選帝侯のソナタは、これも劇的な変化とは言えませんが、ピアノの響きが豊かになります。

ワルキューレは、オーケストラが緻密になり、ソプラノやメゾソプラノの位置関係がより明瞭になります。

メサイアは、ソプラノや弦の細かいニュアンスが向上し、合唱の迫力が増し、通奏低音がより明瞭になります。

### 4. まとめ

TruPhase と FAL C90EXW を駆動するしなの音蔵 300B シングルアンプのヴォリュームへの VRA-7 の同時適用の効果を認めました。

以上